

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	イリョウホウジンザイダンオギクボビョウイン
		医療法人財団荻窪病院
所在地	東京都杉並区今川三丁目1番24号	
管理者氏名	布袋祐子	
承認年月日	平成28年8月29日	
業務報告書提出日	令和5年10月2日	

II 業務報告

対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	70.1 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	13,738 人
	②初診患者数	23,381 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数 (初診に限る)	2,822 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数 (初診に限る)	952 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数 (初診に限る)	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	94.3 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	18,495 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	1,922 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	CT、MRI、内視鏡、超音波、手術室、研究室等
登録医療機関数	214

3 救急医療の提供の実績 【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	3,485 (2,807)
救急搬送以外の救急患者数	5,885 (4,419)
合計(うち初診患者数)	9,370 (7,226)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏(2次医療圏)人口※	人
C:A/B×1000>2	(少数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における区市町村人口の総和)を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	地域の医療従事者の資質向上を図るための研修を実施 地域の医師等を交えた症例検討会を複数科において定期的実施しており、医師以外の職種や地域の救急隊等とも症例検討会や研修会を開催。それ以外に医学・医療に関するテーマを決めた研修も開催。 ※2022年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により研修を実施することに支障が生じた為、延期あるいは休止の措置を講じた。	
地域の医療従事者への実施回数		4回
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数	158人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	4人
研修施設	スタッフ室(講義室)、食道、会議室、カンファレンス室、杉並区公共施設等	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	事務部長	
管理担当者	診療情報管理室長、地域連携室長	
診療に関する諸記録の保管場所	診療情報管理室及び外来・病棟	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域連携室
	救急医療の提供の実績	地域連携室
	地域医療従事者向け研修の実績	地域連携室
	閲覧実績	地域連携室
	紹介患者に対する関係帳簿	地域連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	事務部長		
閲覧担当者	地域連携室長、地域連携室副主任		
閲覧に応じる場所	地域連携室		
前年度の総閲覧件数			0 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	3 回		
委員会の概要	2022年8月、12月、2023年3月の3回開催 ①地域医療支援病院承認要件の報告 紹介率、逆紹介率、共同利用実績、救急患者数、研修会開催状況等 ②その他の報告 新型コロナウイルス診療体制、実績報告 ③委員との意見交換		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室・相談窓口		
主たる相談対応者	医療安全管理者、社会福祉士、相談員		
相談件数			69 件
相談の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ感染対策について ・ 職員の対応について ・ 治療費について ・ 治療内容について ・ 福祉制度について 		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	<ul style="list-style-type: none"> 評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価機関名：公益財団法人 日本医療機能評価機構 最新受審日：2022年1月31日～2月1日 機能種別版評価項目：一般病院2 (3rdG:Ver. 1.1) 認定期間：2021年3月19日～2026年3月18日

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	病院ホームページ、病院フェイスブック、病院パンフレット（患者・医療機関用）、広報誌（患者用「荻窪病院だより」・医療機関用「荻窪病院地域連携室News」）、外来待合室お知らせモニター、年報誌（「診療のご案内」）・情報発信の方法、内容等の概要

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の有無概要	社会福祉士及び看護師を中心に、病棟カンファレンスを通じ、患者の主治医ならびに病棟看護師と治療方針や退院目標を共有した後、患者及びその家族と面談し意思確認を行った上で、他施設や医療機関への転院調整、あるいは在宅医療への移行の場合は、退院前カンファレンスによる地域の関係各機関の担当者との情報共有を行うなど必要な退院支援活動を行っている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	大腿骨頸部骨折地域連携パスを使用 週1回、当院より連携先医療機関へ整形外科常勤医を派遣し、パス適用患者の転院後のフォローアップを行うことで、確実な医療連携に取り組んでいる。

病院名 医療法人財団荻窪病院